



定価：本体 1,400円＋税
 四六判 192ページ
 ISBN978-4-909124-49-4 C3037

近年、学校現場ではベテラン教師が大量に退職し、若手教師が一気に増えています。大量に増えた若手教師は、些細なうまくいかないこと、そして多様なうまくいかないことに直面していますが、その「うまくいかない」が見過ごされがちになっています。教師は、教育実習こそ経験しているものの、就職してすぐに学級担任を任されるなど、社会人1年目から現場での実質的なトレーニング期間なしに一人前、であることが求められる点で、他の職種とは少し異なっています。若手にとっては過酷な仕事の一つと言えるかもしれません。教師になったその日から「うまくいかない」の連続だと思えます。本書は、こうした課題に応えるため、「うまくいかない」理由を考えたうえで、若手教師のリアルな失敗談から「うまくいかない」状況を改善、克服していくためのヒントを探っていきます。

- 片山 紀子 京都教育大学教職大学院教授
 専門は生徒指導、学級経営、アメリカの生徒懲戒制度
 主な研究テーマは体罰や生徒懲戒制度
- 若松 俊介 京都教育大学附属桃山小学校教諭
 「国語教師竹の会」事務局、「授業力&学級づくり研究会」会員
 「子どもが生きる」をテーマに研究・実践を積み重ねている

…【目次】……

第Ⅰ部 「うまくいかない」先生

第1章 若手教師の「うまくいかない」を考える 片山紀子

- (1) 「知っていること」と「できること」は違う
- (2) なぜ「できない」のか
- (3) 日常的に起こる「うまくいかない」を省察する
- (4) 職能成長を支えるにはコミュニティがいる
- (5) 先輩も彼らの失敗からヒントを探ってみよう！

第2章 「うまくいかない」とどう付き合うか 若松俊介

- (1) 若手時代の「うまくいかない」
- (2) 「うまくいかない」との向き合い方の変化
- (3) 「うまくいかない」から学ぶこと、得た力
- (4) 今も「うまくいかない」と共に過ごす日々
- (5) 「うまくいかない」後輩とどうかかわるか

第Ⅱ部 若手教師12人のリアルな失敗談

1. 「良い先生」と思われたくて A先生

- (1) 「良い先生」と思われたい
- (2) 保護者に「良い先生」と思われたい
- (3) 同僚・管理職に「良い先生」と思われたい
- (4) そういえばあの時も

若松の視点 相手の気持ちを無理矢理変えることはできない
 片山の考察 「事実承認」を積み重ねてコミュニケーションの契機に

2. 「助けて」が言えなかった1年目 B先生

- (1) 担任の仕事の多さに驚いた
- (2) 頑張ってみたものの
- (3) 自分を追い詰めていた

- (4) 先輩が眩しく見えて「助けて」が言えなかった
- (5) 生徒にも「助けて」が言えなかった

若松の視点 「助けて」を言い出しやすい環境づくりが大事
 片山の考察 他者とのかわりかかわりがヒントになる

3. ストレートに伝えるだけではうまくいかない C先生

- (1) はじめて持った学級
- (2) 生徒の嘘
- (3) 信頼されていない自分
- (4) ストレートすぎた自分

若松の視点 行動の理由をじっくり想像してみてください
 片山の考察 自分の正義を押しつけることをやめてみる

4. 曖昧だらけの学級経営で子どもが苦しむ D先生

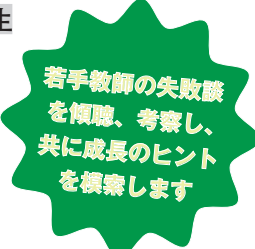
- (1) 「丁寧に」「意識して」とは具体的にどういうことか
- (2) ざわざわしてしまう教室
- (3) 特別な支援が必要な子に対応できなくなった
- (4) 余裕がなくなると曖昧で雑になる

若松の視点 曖昧で不安になったらすぐ先輩に聞くことが大切
 片山の考察 自分の言ったことがそのまま伝わるとは限らない

5. 子どもの困りに気づけなかった E先生

- (1) 仕事に追いつかない自分
- (2) 子どもからの訴えと保護者対応に苦慮
- (3) その後も続くAさんの訴え
- (4) Aさんの訴えはなぜ？
- (5) 係活動を入れてみた
- (6) 子ども同士のトラブルが減った

若松の視点 学級として子どもたち同士の関係をつくるのが大事
 片山の考察 どんな子どもでも認められるような場面を用意するのが担任の仕事



〈裏面に続く〉

6. 授業が「おもしろくない」と言われた **F先生**

- (1) 初めて持つ「化学」
- (2) 化学、おもんないわ～
- (3) 失敗の原因① 初めてだから仕方ないという甘え
- (4) 失敗の原因② 全体をとらえられない未熟さ
- (5) こっそり自宅で作った模擬授業
- (6) その後
- (7) 生徒に感謝

若松の視点 さまざまな試行錯誤を経てよりよい授業ができるようになる

片山の考察 心底「うまくなりたいたい」と思うことが一番大事

7. 收拾がつかなくなった研究授業 **G先生**

- (1) 初めての公開授業
- (2) 思い通りにいかなかった研究授業
- (3) 研究授業で初めて気づいた自分のまずさ
- (4) 授業は準備をたくさんした結果深くなる
- (5) 失敗を失敗と認識していなかった自分

若松の視点 授業は目の前の子どもたちのためのもの

片山の考察 粗探しではなく「できているところ」を見つける場に

8. 自分一人で奮闘していた学級経営 **H先生**

- (1) 不登校の子どもを毎朝家まで迎えに行っていた
- (2) なぜ迎えに行くようになったのか
- (3) 焦りからの一方的な指導
- (4) 終わりの見えない女児のトラブル
- (5) 形骸化していた学級

若松の視点 自分一人で奮闘しない

片山の考察 最初の仕事の環境整備は上司の仕事

9. どの子にも目をかけていたつもりだったのに **I先生**

- (1) クラスの子がオンラインゲームで教員の悪口を言っていた
- (2) 子どもたちへのかかわりが公平ではなかった
- (3) 子どもたちの本音
- (4) 子どもたちとどうかかわるのが正解なのか

若松の視点 目指すものがあるから「〇〇のつもり」に気づくことができる

片山の考察 個を見ながら全体を見る

10. 「なんとなく」ではうまくいかない **J先生**

- (1) なんとなく過ごした半年間
- (2) 担任になってしまった自分
- (3) 生徒指導ができない
- (4) 先輩の忠告
- (5) 指導法を変えてみたものの

若松の視点 学び続けることで「なんとなく」が解消される
片山の考察 コーチングの手法を自分にも使ってみる

11. 自分の力以上に頑張りすぎた **K先生**

- (1) 初めての異動、初めての体育主任
- (2) マイナスを取り返したい
- (3) 学級経営も厳しくなった
- (4) 体調を崩して病気療養することに
- (5) 今できることを積み重ねる

若松の視点 自分をさらけ出してこそ、相手は支えてくれるようになる

片山の考察 疲れたらひと休みするのも選択肢の一つ

12. 校務分掌を甘く見ていた **L先生**

- (1) 学級のことだけを考えていた自分
- (2) 先生!! 今年の朝学習はどうなっているんですか!?
- (3) この校務分掌ってこんなに大事なの!?
- (4) 事前にしっかりと根回しすること
- (5) 思い返せば過去にも同じことが

若松の視点 6年間を通して子どもを育てていくという意識が大事

片山の考察 みんながリーダーシップを発揮できるような手立てが必要

終章 若手教師の「うまくいかない」を支える **片山紀子**

- (1) 教師の専門性
- (2) 教職大学院で大事にしている人間関係力の育成
- (3) 若手の成長は諸刃の剣
- (4) 成長を支えるコミュニティ

※第Ⅱ部の事例は若手教師の失敗がテーマであるため、本人・関係者が特定できないように編集しています。

ご注文は **FAX：048-711-1804** ジダイ社まで ※合計金額が5,000円に満たない場合、送料350円を申し受けます。
もしくは、出入りの書店にご注文をお願いいたします。

連絡先	学校名：	ご担当者：
	住所：〒	
	TEL：	FAX：
	必要書類：	
番線印（書店利用の場合）	注文冊数	IISBN978-4-909124-49-4 C3037
「うまくいかない」から考える 若手教師成長のヒント		
編著者：片山 紀子・若松 俊介 冊 四六判並製 192ページ 本体1,400円（定価：1,540円（消費税10パーセント））		